



○にあてはまる数字を教えてください。

世界では、子どもの○人に1人が
学校に通えていません。

セーブ・ザ・チルドレン ニュース

特集 教育支援

すべての子どもに 学ぶ機会を

世界では、6歳から17歳の子どもの6人に1人(2億6,300万人)が学校に通えていません*。これは、先進国の子どもの人口2億4,500万人よりも多い人数です。なぜ、学ぶ機会が奪われているのでしょうか。そして、子ども支援の国際NGOであるセーブ・ザ・チルドレンはどのような支援を行っているのでしょうか。

*UNESCO (2016)

学ぶ機会が奪われるのはなぜ?

さまざまな課題が複合的に絡み合い、子どもたちの学びに影響を与えています。

紛争

安全であるはずの学校が、攻撃で破壊されることがあります。避難のため、学校に通えなくなる子どもたちもいます。

「女の子」だから

世界中で1,500万人の少女が、一度も小学校に通えていません。この数字は少年の1.5倍にあたります。

貧困

貧困のために、児童労働や早婚を強いられ、十分な教育を受けられない子どもたちがいます。

場や人材の不足

学校が遠すぎて通えないというケースや、学校に行けても、教員の質の問題で十分な学びが得られないケースも。

攻撃を受け破壊された、シリアの学校の教室。紛争下のシリアでは、3校に1校の学校が爆撃などの被害を受けています。

子どもを誰ひとり取り残さない。セーブ・ザ・チルドレンの教育支援

イエメン、シリア^{ほか} 紛争下の子どもたちが学ぶ機会を奪われないように。



学習支援センターで文字の書き方を学ぶ子ども



セーブ・ザ・チルドレンが支援する学校で学ぶシリアの子どもたち

4人に1人が学校に通えていないイエメンで 学習支援センターを運営

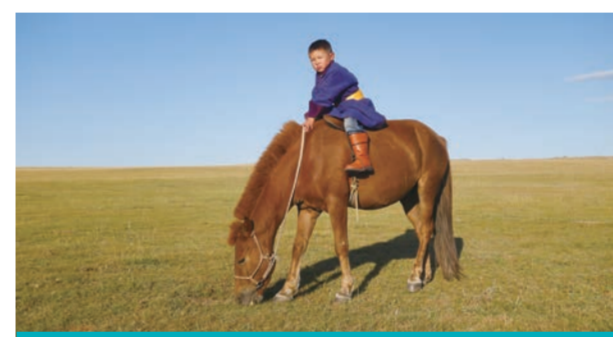
紛争の影響で学校に通えなくなった国内避難民の子どもたちや、避難民を受け入れている地域の子子どもたちが学べるよう、「学習支援センター」を運営しています。正規の学校に戻るまでの間、アラビア語や算数、理科などの学習を支援しています。

シリアでは3校に1校が紛争の被害に ストップ!学校への攻撃

紛争下では攻撃の対象になることや、軍の拠点として使用されることもある学校。そのような状況に対し、学校を攻撃や軍事利用から守るよう、世界74ヶ国が「学校保護宣言」に調印しています(2018年4月現在)。

モンゴル 遠隔地の子どもたちが、スムーズに小学校生活を始められるように。

1 広大な大地に暮らす、遊牧民の少年アンハーさん(6歳)。町の子とも異なり、小学校へ入る前に学ぶ場はありません。



2 小学校に入学してからスムーズに学習を始められるよう、セーブ・ザ・チルドレンは、家庭で入学準備の学習ができる教材を提供しています。



3 小学校に入学したアンハーさん。幼稚園に通っていた子どもたちとともに、スムーズに小学校生活を始めることができました。



4 今日から授業が始まります。セーブ・ザ・チルドレンは政府などと協力し、1年生向けの分かりやすい副教材の開発も行ってきました。

日本 成長や学びの機会が環境に左右されないよう、給付金を通して支援。

災害で家計にダメージを受けた世帯や、経済的に困難な状況下の家庭の子どもたちを支援。入学時の制服代や、修学旅行の費用などを給付金で支えています。2017年は約2,000人の子どもたちを支援することができました。



日本では7人に1人の子どもが相対的貧困下に

世界のお昼ごはん



レバノン

地中海に面し、シリアとイスラエルに隣接しています。2011年のシリア危機以降150万人の難民を受け入れており、人口450万人に対し、世界一難民の割合が高い国であるといわれています。

この日のランチは肉団子のヨーグルトシチューと、ごはんと揚げ麵を混ぜたもの。「レバノン料理は何を食べてもおいしい!」とスタッフは話します。



セーブ・ザ・チルドレンは、
子どもの権利のバイオニアとして
約100年の歴史を持つ、
子ども支援専門の国際NGOです。

セーブ・ザ・チルドレンは、日本を含む世界120ヶ国で子ども支援活動を行う、民間・非営利の国際NGOです。子どもの権利が実現された世界を目指し、約100年にわたり活動しています。



創設者 エグランド・ジェフ

www.savechildren.or.jp

セーブザチルドレン

検索

